

吉成勝好著「NIE 質問箱、新聞の学習塾での活用 - 読解・表現力の育成で注目 - 」

信濃毎日新聞、NIE 質問箱 2009年 月 日朝刊を読む

新聞の学習塾での活用 - 読解・表現力育成に -

- (1) 経済協力開発機構(OECD)の PISA(学習到達度調査)の結果、日本の子供たちは批判的な読みや論理的に自分の意見を組み立てて表現する力が不十分であることがあらためて明らかになりました。

文部科学省はじめ各教育委員会、各学校ともその育成に取り組んでいますが、なかなか成果が挙がりません。

教育課程編成の硬直性が妨げになってもいるようです。

- (2) その点、塾教育は課題に対し、柔軟に素早く対応できるメリットを持っています。

意欲的な塾はいち早く PISA 型読解力・表現力の育成に力を入れてだしていますが、その具体的な方策の一つとして、NIE も注目を浴びています。

一例として、北関東で複数の教室を経営している K 塾の実践を紹介しましょう。

- (3)新聞を読む習慣づくり

K 塾では、新聞の切り抜きを張る掲示板を各校舎に設置し、教科の中で新聞を使った授業も積極的に取り入れています。

同時に、自主的に家庭で新聞を読むことを推奨。

小学生は 20 分、中学生は 40 分、高校生は 60 分を目安に読むよう呼びかけています。

新聞を読む習慣と学力との間には強い相関関係があることが経験的に確かめられています。

K 塾では、新聞を読み続けると...

(ア)物事を自分の力で考えられるようになる

(イ)見出しを読むことにより、課題認識が深まる

(ウ)文章理解力などの国語力、集中力が向上し、成績が徐々に上がっていく。また自分の考え

を整理してコミュニケーションができるようになる

(エ)自己学習能力が育つ

(オ)音読することにより、脳が活性化されると、その効果を挙げています。

(4)マイ・ノートブックの活用

自主的な課題として『新聞を読んで考えよう！マイ・ノートブック』の活動も重視しています。

これはカード式の新聞スクラップで...

(ア)興味ある記事を切り抜いて張り

(イ)発行日・新聞名・見出しを記入

(ウ)記事について自分で調べたことを記入したり、考えたことをまとめたり、意見を書いたりして提出する
というものです。

先生がコメントを書いて返却します。

[コメント]

開倫塾の NIE 活動の取り組みが「K 塾の実践」として紹介されている。有難いことだと信濃毎日新聞社の新聞教育支援センター代表の吉成勝好先生に感謝申し上げたい。

- 2009 年 9 月 9 日(重陽の節句) 林明夫記 -